

The topic of the town

まちの話題



住みよい自治会目指し 事例発表会・研修会

11月21日、串間市自治会連合会（村上正勝会長）が事例発表会・研修会を串間市文化会館で開催しました。それぞれの自治会で取り組んだ事例や課題などを参考にすることで、自分たちの住む地域をより暮らしやすくしていこうと開催しているもので、今年で3回目。会では「自治会運営で大切なのはお互いを知ること。それを目的に子どもも参加できる行事を開催している」などの事例や「世代間で縦・横のつながりを築くことが必要」といった意見が発表され、参加した自治会役員など約80人が熱心に聞き入っていました。



郷土の詩人をしのんで 神戸雄一詩碑祭

串間市出身の詩人・神戸雄一氏の功績をしのぶ第27回神戸雄一詩碑祭（串間市文化協会主催）が11月21日、串間市文化会館で行われ、約40人が参列しました。
まず、参加者全員が会館の敷地内にある詩碑に献花。その後、市内の小・中学生から募集した詩コンクールの表彰式を行いました。コンクールには302編の応募作があり11編が入賞。表彰式では、入賞者がそれぞれの作品を朗読しました。最後にコーラスグループの串間白ばらコールが神戸氏の代表作「鶴」などを歌い、神戸氏をしのびました。



子どもまつり 親子で楽しみました

11月21日、串間市アクティブセンターで「子どもまつり」がありました。これは毎年リズム体験会や子育て講演会を実施している親子リズム子育ての会（児玉良子会長）が実施したものです。今回は青年団協議会や婦人団体連絡協議会、福島高校インターアクト部など多くの団体が運営に協力しました。アクティブセンター全館に設けられたゲームコーナーでは、参加したたくさん親子連れが、さかなつりゲームやボウリングゲームなどを楽しんでいました。参加者からは「来年もまた開催してほしい」という声が聞かれました。



楽しく学んで 土木工事の大切さ実感

毎年11月18日は「土木の日」です。今年も「土木の日」の関連行事として11月24日、本城小学校で5・6年生を対象とした出前講座とふれあい体験が開催されました。
出前講座では串間土木事務所職員から土木工事の内容やその役割について説明を受け、児童たちはその大切さを学びました。また、前日より串間市建設業協会（谷口光秀会長・36社）の会員が舗装していた校庭内のスロープ側面に芝を張る作業も体験しました。このスロープは児童たちや学校関係者からも、たいへん喜ばれていました。



みんなで浜をきれいに 市木浜クリーン大作戦

11月27日、石波海岸をきれいにしようとして、「市木浜クリーン大作戦」を元気市木づくり推進協議会（川崎永伯会長）が実施しました。午前9時から始められた作業には市木地区の住民や関係団体などから約300人が参加。約4kmに渡る石波海岸の4カ所に分かれ集合し、ごみ袋を手には、海岸に流れ着いたごみや流木などを拾い集めました。
今年台風が少なかったことや、地元サーファーの方々の清掃活動もあり、例年よりごみが少なかったという点で、約2時間の作業で海岸はきれいになっていました。



美しい水辺環境を みんなで守りましょう

11月27日、ふるさとの水辺環境を守る会（村上正勝会長）が主催し、福島川河川敷と桜づつみロードの清掃が開催されました。市内の学校や経済団体など18団体から約200人が参加し、タバコの吸い殻や空き缶、タイヤや鉄板などたくさんのごみを回収しました。集まった量は2トントラック約2台分。しかし昨年と比べごみの量は減っており、清掃の効果が少しずつ出てきているようです。作業終了後に村上会長が「今後も清掃活動を続けて、美しい環境にしていけるよう頑張りましょう」と活動の継続を呼びかけました。



年末年始の 事件・事故防止を図る

年末年始に向けて、飲酒運転の撲滅・交通事故の防止・防犯の強化を目的としたパトロールを強化している串間警察署では、12月8日、年末警戒隊の出発式がありました。署員や交通安全協会関係者などが参加した出発式では車両点検などの後、廣瀬賢三署長が「年末年始は人の往来も多くなり事故が心配され、また夜間の侵入窃盗などの犯罪も懸念される。市民の安全な暮らしを守りましょう」と訓示しました。この後、県警本部交通機動隊の白バイの先導により、全車両で市内のパトロールに向かいました。

